

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：県民生活行政費

事業名 岐阜県ボーイスカウト・ガールスカウト事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部 環境生活政策課 生涯学習係 電話番号：058-272-1111(内2918)

E-mail：c11260@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 414 千円 (前年度予算額： 414 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	414	0	0	0	0	0	0	0	414
要求額	414	0	0	0	0	0	0	0	414
決定額	414	0	0	0	0	0	0	0	414

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

青少年の生きる力を育む場として、体験活動の価値が重視されており、これを積極的に行うスカウト活動の円滑な実施のためには、地域における青少年育成指導者の育成を図る必要がある。

(2) 事業内容

集団生活における自己啓発等、青少年の人格形成に大きな影響を与えるスカウト活動を指導していく人材育成のための支援として、事業費の一部を補助。

(ボーイスカウト)

ボーイスカウト指導者講習・ボーイスカウト育成研修会・ボーイスカウト運動の広報活動

(ガールスカウト)

指導者研修会の開催及び参加、東海北陸地区ギャザリングへの参加、ガールスカウト加入促進事業及び広報活動

(3) 県負担・補助率の考え方

定額：補助対象経費の2分の1以内の額
(生涯教育促進事業費等補助金交付要綱による)

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	324	ボーイスカウト事業への補助金
	90	ガールスカウト事業への補助金
合計	414	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・第3次教育ビジョン
- 基本方針 5 学びを支援する安全・安心な教育環境づくり
- 目標28 家庭や地域と学校が連携した教育環境づくりの推進

(2) 後年度の財政負担

青少年の健全育成と地域の教育力の向上を図るための補助事業であり、次年度以降も継続する必要がある。

(3) 事業主体及びその妥当性

スカウト活動は、集団生活における自己啓発、自然の中での様々な体験活動によって培われる友愛、協力、奉仕のスカウト精神の高揚であり、優れた人格形成への支援をはじめ、青少年の健全育成に資するところが極めて大きいことから妥当である。

県単独補助金事業評価調書

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	岐阜県ボーイスカウト・ガールスカウト事業費補助金
補助事業者 (団体)	<ul style="list-style-type: none"> ・日本ボーイスカウト岐阜県連盟 ・ガールスカウト岐阜県連盟 (理由) 集団生活における自己啓発等スカウト活動は青少年の人格形成に与える影響が大きい。
補助事業の概要	(目的) 社会教育の振興を図る。 (内容) 事業に要する経費の一部を補助する。
補助率・補助単価等	定額 (内容) 414千円 ※ボーイ324千円・ガール90千円 (補助対象経費の2分の1以内の額) (理由) 社会教育の振興を図るため、事業に要する経費に対し、予算の範囲内で、補助金を交付する (交付要綱)
補助効果	ボーイスカウト・ガールスカウト活動指導者が地域の青少年健全育成に貢献
終期の設定	終期 R10年度 (ボーイ・ガール) (理由) 社会教育関係団体への補助金交付については、県社会教育委員の会の意見を聞いて行っている。(社会教育法13条)

(事業目標)

<p>・終期までに何をどのような状態にしたいのか</p> <p>ボーイスカウト・ガールスカウトの指導者の養成等を支援し、スカウト活動の活性化を図ることで、地域の教育力を高める。</p>
--

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (S56)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R10)	
						達成率
①研修事業参加者数 (ボーイ)		76	50	50	50	100%
②研修事業参加者数 (ガール)		212	30	30	30	100%

※R4年度ガールはオンライン研修で実施しているため参加者数増

補助金交付実績 (単位：千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度
	414	376	414	414

(これまでの取組内容と成果)

令和3年度	両団体が実施した研修会等に対し支援を行うことにより、指導者の養成とスカウト活動の活性化を通して地域の教育力向上に寄与できた。
令和4年度	両団体が実施した研修会等に対し支援を行うことにより、指導者の養成とスカウト活動の活性化を通して地域の教育力向上に寄与できた。
	指標① 目標：50 実績：76 達成率：100%
	指標② 目標：30 実績：212 達成率：100%
令和5年度	令和7年度当初予算にて追加
	指標① 目標：50 実績： 達成率： %
	指標② 目標：30 実績： 達成率： %

(事業の評価)

<p>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価) 3	地域における子どもたちの活動の場は減少しており、子どもたちに豊かな体験活動を提供するスカウト活動や、地域における体験活動の指導者の必要性は高まっている。
<p>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)</p>	
(評価) 3	コロナ禍においても、指導者養成は継続して行われた。ボーイスカウトは、地域の子ども達を対象とした体験活動イベントを実施(文部科学省委託事業)。
<p>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価) 1	両団体が実施する事業内容について、随時確認を行っている。

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 少子化により、団体の構成メンバーが減少しているため、指導者の関わり方も含めた、活動内容全般の工夫改善が必要である。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 岐阜県の子どもたちによりよい体験活動の場を提供し続けられるよう、両団体と連携</p>
--

し、指導者の養成、活動内容の工夫改善を進める。